

# 21世紀最初のチャンピオン

## 四国アマ谷口拓也(新阿波)

## 女子アマ 二宮薫(今治)



### 2001.7.16 第3号

発行  
四国ゴルフ連盟  
〒790-0921  
愛媛県松山市福音寺55-1  
電話 089-990-3260  
FAX 089-990-3261



### 二年連続の快挙

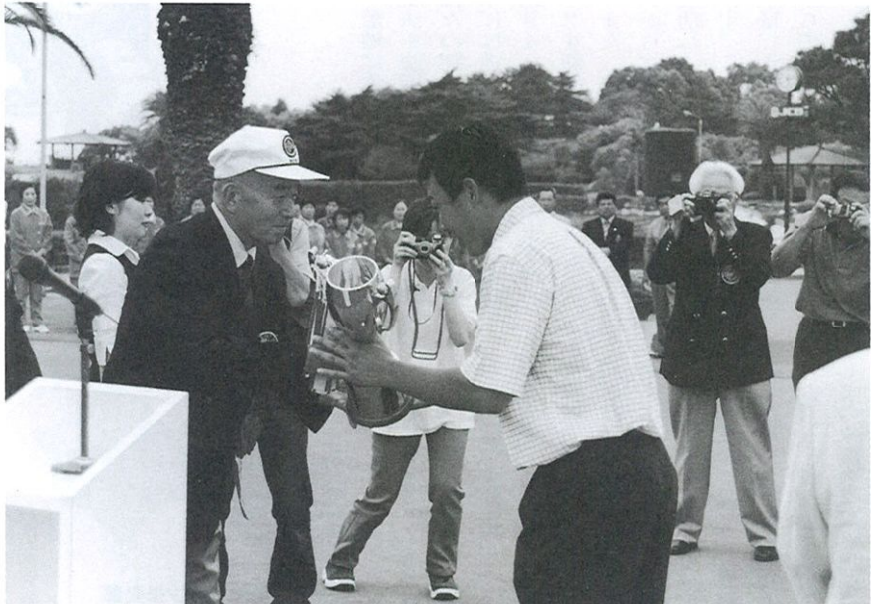
平成十三年度(2001年)の「日本ゴルフ百年祭記念」四国女子アマ、四国アマ選手権大会は五、六月に開かれ、女子アマではベテランの二宮薫選手(今治CC)が四年ぶり五度目、四国アマは若手の谷口拓也選手(新阿波CC)が昨年に続いて優勝、それぞれ21世紀最初の四国チャンピオンの座を手中にした。

### 四年ぶり五度目



第21回四国女子アマ選手権(5月16・17日、ロイヤル高松カントリークラブ、6144ヤード・パー72、83人参加)  
晴天続きでグリーンは堅め。難易度がやや上がった中でベテランと中堅、新人が激しく競い合い、最後まで予断を許さぬ展開となった。過去4連覇の実績を誇る二宮薫選手が最終日を2バーディー3ボギー、通算4オーバーでまともな成績を残し、平成一一年度の日本女子ミッドアマチャンピオンの実力をみせつけた。一方で2位タイ

13位の坂本優里選手は参加最年少の中学一年生だった。最終成績は次のとおり(20位まで)。  
①二宮薫(今治) 148 ②藤山友美(琴平) 150 ③三木逸子(テュオ) 151 ④菊山弘子(琴平) 155 ⑤大路麻理(高松スポーツ) 157 ⑥曾根良子(愛媛) 前田陽子(詫間) 159 ⑧原田真紀(御所) 藤井里香(土佐) 160 ⑩掛水直美(琴平) 161 ⑪生田曉美(徳島) 163 ⑫篠原祐美子(高松) 164 ⑬坂本優里(エリエール松山) 165 ⑭馬木小百合(松山国際) 二宮歌奈子(今治) 古本裕美(屋島) 横山倫子(詫間) 166 ⑯谷美寿喜(ロイヤル高松)



明るい陽光のもと、拍手と笑顔に包まれた表彰式(土佐CC)

木村有希(高松) 168 ⑳三木逸子(徳島) 坂東由美子(四国) 山内佳子(北条) 169  
第21回四国アマ選手権(6月6・8日、土佐カントリークラブ、6603ヤード・パー72、160人参加)  
初日、豪雨でスタート時間が90分遅れた以外は天候に恵まれた。

### タイムパー初導入 屋外でさわやか表彰式

「屋内」から「屋外」へ。四国アマ、四国女子アマ選手権競技の表彰式の舞台が今年から変わった。緑の練習グリーン上に鮮やかな赤じゅうたん。中央の舞台を挟み左右に優勝者ら上位5選手と主催者側関係者が居並ぶ。選手達の惜しみない拍手の中で優勝カップや表彰楯が大亀理事長から

若手、ベテランの絡む中、昨年優勝の谷口拓也選手が圧倒的な力を発揮し大会史上三人目の連覇を達成した。特に決勝2ラウンドでの10アンダーは称賛されよう。また、2、3位を占めた40、50代選手の活躍も特筆に値する。最終成績は次のとおり(20位まで)  
①谷口拓也(新阿波) 282 ②崎山俊紀(今治) 289 ③井上幸伸(ユートピア) 290 ④池田浩二(SGU)

292 ⑤森井国博(鳴門) 294 ⑥宮英一(今治) 本田雄二(ユートピア) 小松将美(屋島) 295 ⑨弘井太郎(SGU) 大藤友理(グリーンフィール) 296 ⑩黒川倫行(愛媛) 八坂謙(松山シーサイド) 三好学(琴平) 秋森功(道後) 298 ⑬山中陽生(土佐) 大西裕士(琴南) 299 ⑯金子景一(阿南) 松山幹男(北条) 300 ⑰竹本治義(松山ロイヤル) 羽藤悟志(伊予) 三砂広(高松) 桑村幸延(琴平) 高木佳紀(同) 佐竹健侍(土佐) 301

スロープレーの防止が狙いで、各ホールごとにプレー時間を決め特別のトラブルがない限り、設定時間内のホールアウトを義務づける方式。例えば200ヤードを越すパー3なら13分、短いショートは12分以内を設定、違反プレーに競技委員が目光を向け警告する。日本ゴルフ連盟の主催競技への参加者なら経験済みだが、大半のプレーヤーには初体験。前半のラウンドでは不慣れ、とまどいもあつて指導、警告を受ける組もあつたが、後半は大幅に改善され時間以内にラウンドは完了した。

### 四国ゴルフ連盟平成13年度主催競技

- 7月25-26日 四国ジュニア選手権 北条CC(愛媛)
- 8月23日 四国クラブ対抗決勝 詫間CC(香川)
- 9月19-20日 四国ミッドシニア・グランドシニア決勝 レオマ高原GC(徳島)
- 9月26-27日 四国シニア決勝 松山GC(愛媛)
- 四国で開催の日本ゴルフ協会主催競技  
8月23日 第9回日本女子シニア西日本予選2 道後GC(愛媛)
- 11月7-9日 第6回日本女子ミッドアマ選手権 満濃GC(香川)

### 新たに二百万人署名 市民ゴルフ大会支援も

四国ゴルフ連盟は今年度の第二回理事会を六月二十九日、松山市福音寺町の新事務所で開催、ゴルフ場利用税廃止運動の推進などを申し合わせた。

平成元年に始まったゴルフ場利用税は、ゴルフ人口が千二百万人に達し国体種目になった今も存続し不公平税制の代表格となっている。とりわけ健康維持を目的にゴ

を強力に推進することになった。ゴルフ場利用税に加え消費税もとられる「二重課税」の実態などをゴルフ愛好者に広くPRし、運動の拡大に努める必要がある。さらに今年度の「日本ゴルフ100年祭」を機に、クラブメンバー以外の一般ゴルファーらの大会にも支援の手を差しのべることにした。

これに対し四連が優勝盾などを贈って、一層のゴルフの底辺拡大を図ろうというもので、市町村や体協・県協会、県連盟などの主催、申請に基づいて後援するか、対象大会の母体等などの検討を急いでいる。  
また、四連競技・ハンディキャップ委員会にJGA女子委員の小野富美子さん(徳島CC)、湊朱美さん(志度CC)の初参加が決まった。女性の視点が今後の連盟運営に役立つと期待されている。  
さらに三宅俊三監事の死去に伴う新監事に香川県協会から推せんされた請川雄三氏が理事会で承認された。



総面積16万3000平方メートルの徳島ゴルフ場全景。前方に四国一の大河吉野川が流れる

# 清流の恵み 受け40余年

# キーワードは 「安」「近」「楽」「健」

## おらが倶楽部でござる

### 其の四 徳島ゴルフ倶楽部



徳島ゴルフ倶楽部  
〒770-0003  
徳島市北田宮2-13-32  
TEL088-632-1026

徳島ゴルフ倶楽部は、昭和三十一年五月に四国で四番目、9ホール(3243ヤード、パー35)のゴルフ場としてオープンしました。

第一次ゴルフブームと言われた当時、徳島経済の発展には大企業の誘致と、それを促すレジャー施設のゴルフ場の必要性が叫ばれました。徳島県、市、商工会議所が中心となり、地元協力を得て吉野川の河川敷にあった競馬場跡地と周辺地を造成、コース化したものです。

以来、吉野川の清流とともに歩み続けて四十余年。この伝統、時代の流れとともに今後も前進して行きたいと考えています。わが吉野川コースのお客様は、ほとんどが市内とその周辺の方々。

徳島駅から車で十分、市の中心地に近いという利便性に加え、河川敷コースの構造と価格を生かし料金を抑えています。キャディは付きますが、乗用カートは少ないのでグランドシニアの方々もウォーキングプレーを楽しんでおられます。高齢化の時代、当倶楽部は健康増進に大いに貢献していると自負しています。

### 施設、コースを改造

とはいえ河川敷ならではの悩みもあります。十数年前の大洪水では、水が引いた後のコースに大木などのほか、なぜか冷蔵庫の置き土産が残っていました。

上流にダムが完成した今、こんな珍事は無くなりましたが、それでも一、三年に一度はコースが冠水しクローズすることがあります。

敷地はすべて国、県の所有で河川法も適用されるので、改造には種々の制約を受けますが、平成五年には地下一階、地上二階の総面積943平方メートルの倶楽部ハウスを新築しました。

また、平成八年には高麗グリーンからベントグリーンへの改造に成功しプレーヤーの好評を得ています。これも当コースが吉野川の水質、水質、通風に恵まれているからでしょう。

### スリリングショット

さて、わがコースの4・13番ショートホール(フルバック177ヤード)、これが最大の難所。ティグラウンド左側に大きな池、右手前のアリソンバンカーに入れる



## リレーエッセイ 私とゴルフ

八木 保

私は、昭和34年に松山ゴルフ倶楽部に入会しましたので40余年のゴルフ歴になります。そのころ松山唯一の打ち放し場は、堀之内のラグビー場でした。初めはハンディ18くらいになりたいたと、昼休みによく練習に通ったものでした。野球をしていた私は、動いているボールが打てるのだから止まってる球は簡単だと考えていたのですが、思うように打てず、腹が立つやうな情けないやらの連続でした。松山GCは当時9ホールのみでバックを2つ担いで、そのハードな働きぶりには仰天するやうな感服したものです。珍プレーをご紹介しようと、遠

来の友と降り続く雪の中で、球をマジックで赤く塗り、キャディさんには筆をもってもらってプレイしました。落下地点の周囲の雪をかきわけ赤い球を捜すわけですが、雪だるまのようになった球はなかなか見つからず、ホールアウトするまでには30分以上かかったりの難行苦行。結局2番ホール途中でギブアップしました。家に帰れば家内に「貴方はゴルフが得意です」と言われおもしろい。当時の月例コンペは、到着順のドロの組み合わせでしたので、見知らぬ人とのプレーが縁で多くの友人ができました。高齢化時代

思いで深い雪中プレー  
ゴルフは生きる喜びを与えてくれる生涯のスポーツだと心から信じています。最後に、将来のゴルフ界発展のため、ジュニア育成こそが急務と考え力をいれていきたい。そしてゴルフ文化を広めたいと願っております。(四国ゴルフ連盟常任理事)

編集室からお願い  
各地に郷土料理があるように、どのクラブにもお勧め料理があるでしょう。そこで土地の食材を生かした自慢の一品を、写真を添えて誌上でPRしてほしいが、題して「お四国 味のクラブ対抗」。ぜひ、一報を。当方で電話取材させて頂きます。



暑いからこそ面白い  
お四国四大夏まつり  
四国の夏は暑い。その暑さをエネルギーに人々は燃え、まつりに酔う。ゴルフと共に各地の夏まつりも楽しんでほしい。よきこい祭り(8月9日、12日) 熱帯を思わせる南国土佐の夏にひとつの巨大なエネルギーが集まる。  
松山まつり(8月11日、13日) 野球拳発祥の地、松山ならではの「野球拳おどり」「野球サンバ」が大人気。  
高松まつり(8月12日、14日) 日本の古き良き盆踊りの雰囲気を感じよう。  
阿波踊り(8月12日、15日) 踊る阿呆も見る阿呆も三味線と鉦太鼓のぞめきに体を揺らす。

各県  
四国ゴルフ連盟、各県協会・連盟は、今年の「日本ゴルフ百年祭記念」行事の一環としてジュニアを対象にした夏季ゴルフスクールを開く。日程、内容などに多少の違いはあるが、各県とも八月一日からの「ゴルフウィーク」の前後に開催。初・中・上級クラス別にプロゴルファーらによるレッスンやラウンドプレー、マナー、ルールなどの基礎学習も予定している。愛媛では親子のベアー参加を受け付け、バナー親子競技会などを楽しみながらゴルフを学ぶ企画も用意されている。各スクールともラウンド経験のない初心者も歓迎する。各県の開催日、会場は次のとおり。  
香川 7月29日、8月26日、詫間CCCマ徳島 8月7日、徳島C C月の宮コースマ愛媛 8月7日、北条CCCマ高知 8月31日、高知黒潮CCC

今年日本に初めてゴルフコースが誕生して百年。当倶楽部もこの「百年祭」を祝い七月十八日から九月三十日まで豪華景品を用意しての来場者全員参加のロングランコンペを開催します。梅雨明けの一日、吉野川の涼風を背にプレーを楽しんでみませんか。心からお待ち申し上げます。(徳島ゴルフ倶楽部支配人・小波洋三)

今年で64歳のMさんは、ただ今ゴルフに熱中しています。在職中は「月1」がやっとでしたが、定年後は同世代のゴルフ愛好会に仲間入りし、松山市近郊のゴルフ場が毎月開くシニアコンペにも積極的に参加するようになって月二、三回はプレーを楽しむようになり、Mさんが退職を機にゴルフにのめり込んだのは、このスポーツのおもしろさだけでなく何よりも老後の健康維持のため。おかげで足腰は丈夫になり、冬場に風邪で寝込むことも少なくなりました。このところ、スコアも好調で、ゴルフが楽しくなりました。できれば「週1」を望んでいます。年金暮らしでは、その余裕が無いのが残念でなりません。少しでも安くプレーしようとして、Mさんはいつもセルフ希望。夏の早朝、薄暮ゴルフに挑み、昼食はビール抜きと節約、節約に努めます。ゴルフ人口1,200万人。そして来場者の6割強はMさんのような年収700万円未満の人たちです。つまりゴルフは金持ちだけのものではなく、国民スポーツに成長しているのです。なのに今も来場者には、消費税に加えゴルフ場利用税まで課税されます。Mさんたちを含め、ゴルファーの8割が負担への不満を感じ、日本ゴルフ協会も利用税廃止運動を強力に進めてきました。だが、利用税収入を受け取る県や市町村の反対で運動は実りませんでした。不況に加え小泉内閣は地方交付税の大減額を訴えています。こんな悪い環境下では一挙に利用税廃止を求めるのは無理。むしろ税額の軽減を重ね、最終的に全廃させるのが現実的と考えます。Mさんの「週1」ゴルフが早く実現するよう祈ります。(T)